

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2005-512236 (P2005-512236A)
 【公表日】平成 17 年 4 月 28 日 (2005.4.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-017
 【出願番号】特願 2003-551710 (P2003-551710)
 【国際特許分類第 7 版】
 G 0 6 F 17/50
 【F I】
 G 0 6 F 17/50 6 6 8 K

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 9 月 3 日 (2004.9.3)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

タイミングモデルを抽出する方法であって、
 タイミンググラフを受け取るステップと、
 該タイミンググラフを縮小することによって縮小されたモデルグラフを生成するステップと、
 該縮小されたモデルグラフから該タイミングモデルを抽出するステップと
 を包含する、方法。

【請求項 2】

前記タイミンググラフの要素が保持のために識別される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記タイミンググラフの要素はタイミングピンを含む、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記タイミングモデルのサイズを制限するアンカー点を識別するステップをさらに包含する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記アンカー点は、利得値に関連する、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記利得値は、

$$G a i n = (\# \text{ 入来遅延アーク} \times \# \text{ 出て行く遅延アーク}) - \# \text{ 入来遅延アーク} - \# \text{ 出て行く遅延アーク}$$

 として規定される、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

ラッチ入力ピン、ラッチ出力ピン、ゲーテッドクロック出力ピン、ゲーテッドクロック入力ピン、アサーションに関連付けられているピン、ラッチイネーブルピン、ラッチクリアピン、ラッチプリセットピン、出力から出力へのパスに関連付けられているピン、および、取り除かれる場合モデルサイズの増大と関連付けられているピンからなる群から選択される基準に基づく前記タイミンググラフの要素を保持するか否かを判定するステップをさらに包含する、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 8】

前記縮小されたモデルグラフは、B F S 順序の前記タイミンググラフにおけるピンを処理することによって生成される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記タイミンググラフにおける組み合わせ回路部分が縮小される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

シリアルマージ動作は、前記組み合わせ回路部分に対して行われる、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

パラレルマージ動作は、前記組み合わせ回路部分に対して行われる、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 12】

前記パラレルマージ動作は、シリアルマージ動作の直後に続く、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

前記タイミンググラフにおける連続的回路部分が縮小される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 14】

前進 s マージ動作は、前記連続的回路部分に対して行われる、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

後進 s マージ動作は、前記連続的回路部分に対して行われる、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 16】

自己ループチェックアークが前記タイミンググラフにおいて処理される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 17】

前記タイミングモデルを繰り返して抽出するために、ピンが取り除かれる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 18】

前記タイミングモデルを抽出する行動は、前記タイミングモデルを書き込むステップを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 19】

前記タイミングモデルを抽出する行動は、モデル構成要素を識別するように、前記縮小されたモデルグラフをウォーキングさせるステップを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 20】

アサーションに関連付けられている前記タイミンググラフにおけるピンは、前記縮小されたモデルグラフ内に保持される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 21】

アサーションは、前記タイミングモデル内の対応するピンに自動的に関連付けられている、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 22】

前記タイミングモデルは、アサーション情報を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 23】

階層アサーションは前記タイミングモデル内に自動的に含まれる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 24】

ポートアサーションが前記タイミングモデルに自動的に含まれる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 25】

請求項 1 ~ 24 のうちのいずれか 1 つに記載の方法を実行するシステム。

【請求項 26】

格納された命令のセットを有するコンピュータプログラム製品であって、該格納された命令のセットを行うことにより、請求項 1 ～ 24 のいずれか 1 つに記載の方法が実行される、コンピュータプログラム製品。